

「生徒の学びに向かう力を育む御成門中学校」-自ら充実した学校生活を創造し世界に発信する-



御成門だより

令和4年3月1日発行

第 11 号

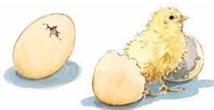
発行責任者

港区立御成門中学校

校長 佐藤 太

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」
〒105-0003 港区西新橋 3-25-30 電話 03-3436-3553 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-kyo.ed.jp



「啐啄同時（そつたくどうじ）」

校長 佐藤 太

弥生3月。明るい陽ざしが戻ってきました。

前号は^{うぐいす}鶯の飼育の話を書きましたが、幼少期農家だった我が家では他にも多くの動物を飼っていました。鶏より小さなチャボも飼育していて、毎朝、産みだした卵を取りに行くのは私の係でした。ある時、父が孔雀の卵をもらってきました。家族会議の結果、めん鳥のチャボに孔雀の卵を抱かせて温めさせ^{ふか}孵化させることになりました。鶏だと3週間でヒナに変えるのですが、3週間過ぎて^{かえ}も孵らず、一日追うごとに待ち遠しさと不安が募りました。確かその一週間後に卵の殻が割れて生まれてきたことを喜んだことと、チャボが孔雀を^{かえ}孵したという事実に子供ながら大変驚いたことを覚えています。孔雀の成長は早く、あっという間にチャボの背丈を追い越していきました。

不思議だったのは、ヒナの孔雀が小さなチャボを親と違って、庭で放し飼いにしているチャボの後ろをいつも追いかけて歩く姿でした。孔雀は、生後3カ月で大きな羽をもち、60cm丈の緑と瑠璃色の姿に成長していました。この頃、2回目の家族会議をしたことを覚えています。それは、育ての親となったチャボを慕って追いかける子供の孔雀を「このままにしてよいのか？」という問題でした。自然界ではインプリンティング（刷り込み）と言うそうですが、やはりこの光景は、大人達には不自然に映ったのかもしれませんが。結論は、鳥小屋を別々にして住ませ、孔雀をもう一羽もらってきて、つがいにして飼うことになりました。チャボと孔雀とを別々の鳥小屋に離してから、孔雀は三日三晩、「グルルー」という恐竜のような大きな鳴き声で^な泣き続けていたのも記憶しています。

さて、「啐啄同時」という禅の言葉があります。啐(そつ)とは、卵の中のヒナが生ま出ようと内側から殻を突つく音。啄(たく)は、そんな卵の中のヒナに気づいて親鳥が外側から殻を突いて出る音です。「啐」と「啄」がバランスの良く同時に進むことで、ヒナは殻から生まれてくることになるのです。ヒナが外に出る準備ができていないのに親鳥が殻を突いても、ヒナが外界に出る時期なのにしり込みして親鳥が時期を見過ごしても、成長や進歩が上手にいくことは難しいでしょう。



私はヒナの誕生と同じく教育も又、然りと思っています。特に、学ぶ側と導く側、お互いが共鳴し、感化し合って、人間は成長していくのだと思います。令和3年度の御成門中学校の教育活動は3月末で一区切りとなります。学校評価では、多くの保護者・学校評議員の皆様、生徒アンケートから、今年度の評価やお声を寄せていただきました。私の思いとしては、生徒に寄り添いながら機を逃さずに、一人一人を受け止めて教育に取り組んできたつもりですが、十分ではなかった反省点もあったと向け止めています。一年を顧みて、「啐啄同時」のように、生徒と教職員の関わりや生徒同士の関わりが更に良くなる教育の向上を今後も目指していきたいと考えています。

生徒の皆さん、この一年間はどうか？。3年生は三年間の御成門中生活で立派に成長し、今年は最上級生として堂々と下級生をリードしてくれました。あと一か月後には、2年生は御成門中の看板となる最高学年になり、1年生は3年生を支える中核中堅を担います。是非、それぞれが、一年間で自分自身の「成長への殻」を突つてくることができたかどうか、自問自答してみてください。その振り返りが、明日の我が道を照らしことになるはずですよ。

保護者・地域の皆様、この一年間、生徒や本校への教育活動にご支援、ご協力をいただき有難うございました。

【校内作品展：2月1日～5日】

各教科や総合の時間、部活動等で作成した作品の展示会を行いました。創意工夫のある作品、感動を与える作品が多く展示され、御成門中生徒の文化を表現することができました。特に3年生の作品はとても素晴らしく、1、2年生のこれからの学習の目標となりました。また、生徒会主催の年賀状コンクール作品も掲示され、生徒による投票も実施しました。



【救急救命講習会（3年）：2月8日】

東京慈恵会医科大学教授 武田聡様の指導を受け、救急救命講習会を実施しました。中学校を卒業すると関わる社会が更に広がり、様々な経験をする事となります。万が一の時に、命を救う行動がとれる力を体験することができました。



【校外学習（1年）：2月15日】

地域の理解と自治的活動をする力の育成を目指して、自分たちが暮らす港区の諸施設を班ごとに巡りました。芝丸山古墳、旧新橋停車場、NHK 放送博物館、ペリー像、浅野内匠頭終焉の地、愛宕神社、芝東照宮等、御成門中学校からの徒歩圏内に多くの見学場所があります。感染症対策のため昼食は学校に一旦戻り各教室での給食としました。2年生での校外学習、3年生での修学旅行につながる行事になりました。



【御成門中生の活躍！】

ダンス部は、第9回全日本小中学校ダンスコンクール金賞受賞等の実績から、令和3年度港区教育委員会表彰をいただくことができました。2月8日に行われた区での表彰式には、現部長・副部長（伊地知まりあさん・生田ひなのさん）が代表して参加しました。また、『東京都教育委員会児童・生徒等表彰』の受賞も決定しました。おめでとうございます！



【3月の予定】

- 1日（火）都立一般入試合格発表（3年）
- 3日（木）中央委員会、避難訓練
- 7日（月）～8日（火）
修学旅行〔京都方面〕（3年）
- 9日（水）～10日（木）
移動教室〔車山高原方面〕（1年）
- 9日（水）都立二次学力検査（3年）
- 12日（土）土曜授業日（午前授業、給食なし）
三年生を送る会
- 14日（月）生徒朝礼
- 15日（火）都立二次合格発表（3年）
- 16日（水）卒業式予行
- 18日（金）卒業式
- 22日（火）保護者会（1・2年）
- 23日（水）校外学習〔鎌倉方面〕（2年）
- 24日（木）美化活動（1・2年）
- 25日（金）修了式
- 28日（月）～29日（火）
MINATO イングリッシュキャンプ
（2年生代表生徒）